

吉林省檔案館
編
廣西師範大學出版社

日本關東憲兵隊報告集（第三輯）9

廣西師範大學出版社

· 桂林 ·

目 录

奉天地方检阅部通信检阅月报(昭和十七年七月八日)	〇〇一
奉天地方检阅部通信检阅月报(昭和十七年八月八日)	〇三八
奉天特别室大野月报(昭和十七年十月)	〇六四
附残件	一四六
*奉天地方检阅部通信检阅月报(昭和十七年十一月九日)	一六五
奉天地方检阅部通信检阅月报(昭和十七年十二月)	二〇二
奉天宪兵队通信检阅月报(昭和十八年二月十五日)	二〇七
*奉天地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年三月十六日)	二一九
奉天特别室业务月报(康德十年三月)	二四〇
*奉天地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年四月八日)	二四六
奉天特别室业务月报(康德十年四月)	二七四
奉天地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年五月七日)	三一二
*奉天地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年六月八日)	三五一
奉天地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年九月八日)	三七三
奉天地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年十月十日)	四〇七
奉天地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年十一月)	四四四

送檢第六五號

通信檢閱月報提出ノ件報告

昭和十七年七月八日

奉天地方檢閱部長

儀

高

中央檢閱部長 原

守

殿

昭和十五年十月十六日中檢第七五號ニ基ク首題ノ件別冊ノ通提出ス

送送先

中檢 爲 安東 營口



(了)

通信檢閲月報（六月）

要

1 本期間中ニ於テ檢閲セル通信文ハ郵便三五、八九三件電報一、三九二件ニシテ其ノ内押收、削除其ノ他ノ處置ヲナシタルモノ郵便五八七件電報四六六件ナリ

2 本期間中ニ於ケル特異通信ヲ擧クレハ

◎ 最近ニ於ケル經濟的逼迫ハ日本軍乃至日本ノ改善的施策ニ

基因ス

◎ 世界紅十字會ニ於ケル敵性國郵便物ノ遞送

◎ 滿人ノ徵兵忌避

◎ 旅行證明書等ノ不正入手乃至利用

等アリタリ

旨

本文

一 一般狀況

前期ニ引續キ檢閲重點ヲ奉天隊ノ服務重要目標タル敵國並ニ敵性國
彖ヨリスル對滿思想策謀及謀報謀略組織（特ニ英、米、支「ソ」）ノ
索出、經濟擾亂ノ防壓ニ指向服務スルト共ニ最近奉天市内ニ續發セ
ル容疑謀略火災事件ノ搜查ニ並行シ其ノ原因究明ノ爲特ニ策動乃至
連絡「ル」ト「ト」認メラル、滿洲對北支間ノ交信ニ對シ檢閲ヲ密
ニシテ搜查資料ノ蒐集ニ任シタルカ
本期間中ニ於ケル之カ成果ヲ檢討スルニ

1 抗日通信

(一) 抗日刊行物

前期ニ續キ在西安中華佛教協進會ヨリ在滿各官署、學校宛抗日
小冊子ノ郵送越一件八部アリタル外特異ナルモノヲ認メス

(二) 抗日通信文

日本軍ノ駐屯乃至大東亞戰遂行ニ伴フ滿洲國ノ施策ハ日本ノ強
善ニ基クモノニシテ滿人ニ對シテハ經濟的壓迫加重トナルノミ
ナリ等抗日的底流ヲ窺知ヤシムルモノ散見セラル

2 大東亞戰ニ伴フ動向通信

日本ノ大東亞戰爭ニ於ケル戰果ハ在滿日本人ノミナラス滿人其ノ他ニ對シテモ亦日本信賴スルニ足ルトノ信念ヲ與ヘ一般ニ日本ノ戰爭遂行ニ協力セントスル傾向顯著ナルモノアリ

(一) 日本人

在滿日本人ハ一般ニ皇國臣民タルノ誇リヲ自覺シ困苦缺乏ニ耐ヘ一意職域奉公ニ邁進スヘシトナシアルモ一部日本人間ニハ一穫千金ヲ夢見南方進出ノ企圖策動ナシアルモノ漸増ノ傾向アリ

(二) 滿人

概ネ日本必勝ヲ確信シ協力的態度濃化シツ、アルヲ認メラル、モ一部ニハ尙經濟的逼迫ニ耐ヘ得ス最近ニ於ケル貧困ハ日本軍乃至日本ノ**独善**ニ基因ストナシ
不平不滿ヲ洩スモノ散見セラル

(三) 外人其ノ他

特異ノモノナシ

3 軍紀上要注意通信

應召者ノ普通便利用通信中ニハ滿期待望送金請求、婦人死喪通信
等其ノ悉クカ軍紀上注意ヲ要スヘキモノナリ

4 防禦上有害通信

普通便利用通信中家鄉死滿期除隊乃至召集解除ノ期日ヲ報スルモ
ノ又ハ轉屬入校等ニ際シ其ノ狀況ヲ報スルモノ等若干アリタル外
特ニ有害惡質ナルモノヲ認メス

5 軍人軍屬ノ普通便利用狀況

本期間中發見處置シタルモノ一〇九件ニシテ前期一四五件ニ比シ
若干減少ヲ見タルモ其ノ通信内容ハ依然軍紀上乃至防禦上注意ヲ
要スヘキモノ多數アリ嚴ニ監視中ナリ

6 其ノ他

(一) 滿系學生ニシテ徵兵忌、避ヲ企圖シアルモノ

張

(二) 重慶政權下ニ於テ勉學中ノ子供ニ對シ倫敦、紐育ヘノ留學ヲ從
應學資ヲ調達ヤントスルモノ

(三) 世界紅十字會ニ於テ英、米向ケ通信ヲ遞送シアリトノ通信

(四) 旅行證明書ヲ賣却シ不正利得ヲ企圖ヤルモノ又ハ白紙旅行證明、
書勞働票等ヲ郵送ヤルモノ二件

(五) 奉天滿洲第八七九部隊ノ容疑謀略火災事件ヲ重慶方面ニ通信セ
ルモノ

(六) 目標人物ノ發受信一三件
等アリタリ

ニ郵便檢閲

1 郵便檢閲實施成果表

別紙第一ノ如シ

2 郵便檢閲成果概況

區 分		件 數	
		前 期	本 期
抗日通信	抗日通信文	三〇	二五
	抗日刊行物	三八	八
計		七八	三三
軍紀上要注意通信	第一線勤務又ハ軍隊生活雜忌	一八	五
	軍紀弛緩ヲ窺ハル、モノ	九一	八六
計		一〇九	九一
防諜上要注意通信	軍ノ編成裝備ヲ報スルモノ	二	二
	軍ノ行動移駐ヲ報スルモノ	九	一一
計	其ノ他	四一	四四
計		五二	五七

合 計	其 他					
	計	鮮人ノ思想上要注意通信	國庫ノ治安不良ヲ報スルモノ	海軍ノ徵兵忌避	統制經濟ニ對スル不協	防諜上要注意通信
九〇八	六六九	三九	一八六	五二	三二四	六二
五八七	四〇六	五九	三八	一	二四八	二二

一抗日通信

發見月日
受場所

發信者

受信者

通

信

内

容

處置

奉天
六二六

奉天
天興隆
周世崇

天津法界
三十號路
周挹清

前畧

兄上ニハ今回信誠銀行ニ就職サレノ由
御同慶ノ至リテス早速オ手紙出サウト思
ツテ居リマシタカ今度新シク糧穀株式會
社カ設立セラレソノ方ハ資本参加等ノ事テ
斯クモ延引致シタノテス不惡御諒承願
ヒマス糧穀會社ハ設立セラレ糧穀店ハ不
振ヲ辿ル一方テ從前四百余店モアツタ
ノテスカ目下ノ処残ツテモハ僅カニ百七
十八店ニ過キマセシ營業不振ヲ開店セルモ
ノ又ハ轉業セルモノ多数アリ私モ此商買
ニ對シテハ何等ノ主張モナク又今後全ク

押收

希望カナイト思ツテ居リマス 最近ニ於ケル
 糧穀會社ノ配給ハ全ク不圓滑テ糧米ノ
 缺乏ヲ来シテ居リマス ソレニ各糧商ハ軍
 警兩方面ノ糧穀受領係員カラ大變ニ
 イデメラレテ居リ全ク忍ビ得ナイ状態テス
 甚タシキハ打チ叩カレ輕キモ罵倒サレテ
 居ル状態テス ソシテ又人ヲ罪ニ陷レテ利
 益ヲ擧ケル等到底思ヒモヨラヌ事テス
 現下既ニ舊年度ノ穀物ハ食ヒ盡シ新
 シイ穀物カ未タ收穫ニ至ラサル時全ク
 ヤリ切レス状態テス 假令今他ニ轉業シヤ
 ヲト思ツテモ全クノ素人デアリ且商店ハ擧
 ヲテ暴利ヲ貪ツテ居リ如何トモ方法カアリ
 マセン……………云々

奉天

六三〇

葉孤零

奉天小西街五段
九八、三、四

趙武鵬

河南省清化
軍官教育班

天涯ノ行遍カント欲ス

此ノ夜私カニ想フ

昔日ノ人郷國ヲ離レテ已ニスシ

于戈今尚治ラス残灯舉ツテ一面煌々

熱淚ニムセヒ却テ聲ナシ

目ニ見ル幾多ノ新聞正ニ大聲正邪

明カスヘシ

時艱未襲年荒レ事業空シ

弟兄東西ニ別レテ旅人トナル

田園零落ス干戈ノ後

骨肉流落ス曠路ノ上

弟影離レテ千里ノ旅人

萍根散作ス九秋ノ蓬

共ニ明月ヲ眺メ涙ニムセフ

柳牧

一夜ノ郷心五處同シ
故國ヲ想ツテ落涙數行
涎ヲトシテ盡クルヲ知ラス

前畧

牡丹、芍藥カ正ニ今ヲ盛リト咲イテナル時
私ハ一株ノ孤獨ヲ氣持ヲ抱イテ彼等ト
一事業ノ相談ヲスル爲ニアノ廣大ナル
中央公園ニ行ツテ来マシタ誰モ彼モ一
獲千金ノ計リ事ヲ抱イテ居リマシタ
食後ノ一時ヲ公園内ノ散歩ニ過シマシタ
私ハ色ヲト心ニ變化カ起ツテ来テ次々ト
辛酸カ心ノ上ニ湧出テ来ル様ニ覺エマ
シタ今私ハ本當ニ人聞キノヨイ仕事
ニタツサワリ而モ充分ナル俸給ヲ貰

押收

六二

奉天

北京市外二區
北極菴田

王宝林

奉天市公署
庶務科

王素珍

已調書

ツテキルノテ局外ノ人ハ誰一人トシテ私ヲ
羨マナイモノハナイテセウ私達ノ現在ノ
事業ハ全ク多岐テ今一々詳シク説明
申シケル譯ニハ行キマセン私ハ此方ニ赴任
シテ第二日目ニ已ニ事業ノ事ヲ見拔
イテ仕舞ヒマシタシカモ彼等ハ誰一人ト
シテ詳シク説明シテ呉レヤウトシマセン彼
等ハ假面ヲ被リ偽紳士ヲ装ツテキルノテ
ス全ク彼等ノ事業ノ計畫ハ非人道
的ナモノテアリ我カ同胞ヲ苦海ニ陥レヤ
ウトスルニクムヘキ事業テアル口ニコソハ
衆生普渡ヲ叫シテ居レト其ノ裏面ニハ
刀ヨリモ鋭イモノヲ藏シテキルノテアル

六五
奉天

河北省
靈壽縣

南朱樂村

李殿華

冰溪湖
煤鉄公司柳塘

李和

前畧

事變以來既ニ五ケ年ヲ經過シタルカ此
間隨分恐ロシイ又危險ナ目ニ遭遇シタ
賦役ヤ公課金ハ毎年約六百円余負
担シテ無意ナル貢獻ニ自分ノ生活ヲ困窮
ニ陷レテキル

當村ノ道路ハ遮断サレ五里毎ニ砲台アリ
日本軍ノ警備隊カ駐屯シテ居リ時々
夜間戦争ヲヤツテ作物ハ一物モ取レナイ
程荒サレテハキルカ幸ヒ家内一同無事
ニ過シテキルカラ安心シテ呉レ

云々

押收